

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1

協議会名: 上三川町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東交通株式会社	上三川町デマンド交通	<ul style="list-style-type: none"> ・町の広報やホームページ等で事業のPRを行なったことで、利用登録及び利用人数の増加(54.2人/日⇒59.5人)が図られた。 ・町高齢者運転免許証自主返納奨励事業及び健康マイレージの記念品にデマンド交通の利用券を交付した。 ・乗車料金の増額に伴い、デマンド交通乗車回数券を導入し、利便性の向上を図った。 	A 事業が計画的に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を一部達成できていない点があった。 【未達項目】 目標: 一日あたり75人分の移動手段を確保する。 ↓ 実績: 一日あたり59.5人	<ul style="list-style-type: none"> ・運行台数を2台から3台に増車したことで、乗車人数は増えたが、一台あたりの乗車人数は減ってしまったため、新たな顧客確保のための効果的なPR方法を検討し、実施する。 ・料金値上げや広告収入の確保により、収支率が向上した。今後も広告収入の確保に努める。 ・アンケート等を実施し、利用者の意見を聴くことで、より良い事業内容の見直しを行なう。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	上三川町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者等の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も存在する。</p> <p>今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。</p> <p>このような中、利用者が低迷していた定時定路線の町の巡回バスを平成25年2月末で終了し、3月からは、より町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通の運行を実施している。</p>